

● 診療科の特色

腎疾患にかかわる分野全般の診療を行います。検診での検尿や腎機能異常の精査、慢性腎臓病の診断やステージに応じた治療、急性腎障害の診断治療、透析導入（血液透析、腹膜透析）などです。また各種疾患（糖尿病、膠原病など）における腎臓の合併症の診療にもあたります。さらには、慢性透析患者の当院各科入院治療中の透析治療を行っています。また腎移植治療の術前管理や術後の長期管理など参画しています。

なおリウマチ膠原病診療は令和 2 年度からはリウマチ科として診療を行っています。下記のリウマチ膠原病は、腎病変をともない腎臓内科で診療した症例です。

診療担当は常勤医師 3 名、専攻医 1 名（卒後 5 年目）、ローテートの専攻医（卒後 3 年目）と初期研修医です。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数 年間入院患者数 250 名

	疾患	患者数
1	慢性腎臓病（非透析、糖尿病以外）	60
2	慢性腎臓病（血液透析、糖尿病以外）	47
3	慢性糸球体腎炎	29
4	糖尿病性腎臓病（非透析）	25
5	糖尿病性腎臓病（血液透析）	24
6	リウマチ・膠原病	19
7	糖尿病性腎臓病（腹膜透析）	18
8	慢性腎臓病（腹膜透析、糖尿病以外）	16
9	ネフローゼ症候群	14
10	急性腎障害	8

死亡退院 8 例：消化管出血、敗血症、肺炎、非閉塞性腸管虚血、誤嚥性肺炎、高ナトリウム血症

2. その他

1) 検査

a) 腎生検施行（当科施行件数）44 例（延べ数）

IgA 腎症 12 例、腎硬化症 6 例、糖尿病性腎症 5 例、ANCA 関連血管炎 5 例、微小変化型ネフローゼ症候群 2 例、尿細管間質性腎炎 2 例、半月体形成性糸球体腎炎 1 例、IgA 血管炎 1 例、IgG4 関連腎症 1 例、血栓性微小血管障害症 1 例、アミロイドーシス 1 例、軽鎖沈着症 1 例、高血圧性腎障害 1 例、二次性巣状糸球体硬化症 1 例、悪性リンパ腫 1 例、骨髄腫腎 1 例、膜性腎症 1 例、その他 1 例

b) 腎生検診断

成人の腎生検組織（腎臓内科・腎移植外科など）の評価を臨床検査科・当該科と共に行っている。

2) 治療（入院治療患者数：新規開始ないし再開、患者ベースの例数）

- a) 慢性腎炎、ネフローゼ症候群、急速進行性糸球体腎炎、リウマチ膠原病
副腎皮質ステロイド 18 例、IgA 腎症扁桃腺摘出後ステロイドパルス 2 例、エンドキサン 3 例、生物学的製剤 4 例(ネフローゼ症候群 2 例、リウマチ膠原病 2 例)
- b) 慢性腎臓病(CKD)患者診療
外来では透析や移植に至っていないすべてのステージの CKD 患者、入院では主に CKD ステージ G4～G5 患者の評価・治療・療法選択などを行っている。
- c) 血液透析
7A 透析室にて入院患者のみを対象。月水金、午前・午後、火木土午前の計 3 クール。コンソール 5 台。通常 15 名受入可能。
1 クール定員 5 名で運用
令和 2 年度入院血液透析患者数 322 例(2020/4/1 時点の入院を含む)、のべ透析回数 2600 回(7A 透析センターにて。病室、CCU での血液透析は除く)。
(詳細は透析センターの頁をご参照ください)
- d) 腹膜透析:外来患者 29 名。(そのうち PD/HD 併用は 7 名)
外来患者は専門外来にて管理しています。
導入 11 名、離脱なし(全例当院通院患者)
腹膜透析患者入院 23 名(導入、内科・外科治療など)
- e) 腎臓病教室:令和2年度 1 回開催
新型コロナウイルス感染対策として縮小しての開催
- f) リウマチ膠原病
血管炎症候群 6 名、リウマチ性多発筋痛症 1 名、IgG4 関連疾患 1 名
- 3) 教育
 - a) 岡山大学臨床教授として、岡山大学医学部医学科の学生を受入れ指導。
令和2年度受け入れなし(新型コロナウイルス感染の影響)
 - b) 専攻医、初期研修医などの指導
 - c) 看護助産学校講師、病院実習中の看護学生サポート
- 4) 研究・治験
 - a) 市販後調査全例報告
 - b) 当科にて
稀な症例の報告、少数例の後ろ向き検討など

● 研究業績

1. 論文発表

なし

2. 学会、研究会

- 1) 発症 2 年後に典型的な臨床像を呈し、治療中に高度の肝障害を合併した成人 Still 症の一例
梅川 剛
第 117 回 日本内科学会講演会 2020 年 8 月 8 日
- 2) 当院における初期研修医への腎臓内科の指導と支援
太田 康介

- | | |
|--|------------------|
| 第 63 回 日本腎臓学会学術総会 | 2020 年 8 月 19 日 |
| 3) 肺腺癌に対し Gemcitabine による化学療法後、腎生検で薬剤性 TMA と診断した一例
渡邊慶太 | |
| 第 50 回 日本腎臓学会西部学術大会 | 2020 年 10 月 16 日 |
| 4) lupus podocytopathy と考えた一例
近藤 瑛 | |
| 第 123 回 中国地方会 | 2020 年 10 月 31 日 |
| 5) 卵黄管由来の遺残組織による腹膜透析カテーテル閉塞を来した一例
中納 弘幸 | |
| 第 65 回 日本透析医学会学術集会・総会 | 2020 年 11 月 2 日 |
| 6) 妊腎症候群にて血液透析導入時に繰り返す透析後の発熱からヘパリン起因性血小板減少症合併の
ナファモスタット過敏症が疑われた一例
中土井 崇人 | |
| 第 65 回 日本透析医学会学術集会・総会 | 2020 年 11 月 2 日 |
3. 講演
- | | |
|---|------------------|
| 1) CKD と高カリウム血症の最新の話について
座長 太田 康介
御津医師会 Online 学術講演会 | 2020 年 9 月 7 日 |
| 2) 腎性貧血診療の現状と課題
太田 康介
腎性貧血 New Frontier 岡山 | 2020 年 10 月 13 日 |
| 3) 慢性腎臓病診療のこれから
太田 康介
御津医師会学術講演会 | 2020 年 11 月 6 日 |
| 4) 慢性腎臓病における高カリウム血症～最適な治療を目指して～
太田 康介
カリメート支店 Web カンファレンス | 2020 年 11 月 13 日 |
| 5) 超高齢社会において慢性腎臓病をみる～全人的なサポートと合併症管理～
太田 康介
赤磐医師会学術講演会 | 2020 年 11 月 27 日 |
| 6) 慢性腎臓病と高血圧・貧血
太田 康介
第 5 回 おかやま腎と薬剤研究会 | 2020 年 12 月 11 日 |
| 7) 日常診療における腎性貧血治療～保存期慢性腎臓病患者でのアプローチ～
太田 康介
OKAYAMA Expert Lecture～CKD 医療の最前線～ | 2021 年 1 月 15 日 |
| 8) 慢性腎臓病診療のポイント～最新の進歩を踏まえて～
太田 康介
和気医師会学術講演会 | 2021 年 1 月 27 日 |

- 9) 慢性腎臓病診療の新しい展開
太田 康介
第 493 回 福山地区内科会学術講演 2021 年 3 月 17 日
 - 10) 全身を見据えた CKD-MBD 管理
北川 正史
腎疾患オンライン勉強会 2021 年 3 月 11 日
 - 11) 意外と身近な多発性嚢胞腎(ADPKD)~その診断と治療
太田 康介
御津医師会 Web 学術講演会 2021 年 3 月 31 日
 - 12) 第 3 回中国若手腎・糖尿病 CONFERENCE 世話人会
寺見 直人 北川 正史
協和キリン株式会社岡山営業所 2020 年 11 月 5 日
 - 13) JSH2019 を踏まえた日本人に適した降圧治療
座長 太田 康介
第 79 回 岡山腎疾患懇話会 2020 年 10 月 10 日
 - 14) SHPT 治療における静注型 Ca 受容体作動薬の可能性
座長 太田 康介
CKD-MBD オンライン学術講演会 2020 年 11 月 7 日
 - 15) 統合移転で進化した岡山中央病院透析センター
座長 太田 康介
岡山市 CKD 医療連携の会 2021 年 3 月 3 日
4. その他
なし